

# 超実力派揃い！一摸一打が光る最強の男達!!



牌譜 1

予選4回戦 南場△局4本場 ド

東家・山田英樹

配牌	<table border="1">[牌面]</table>
ツモ	<table border="1">[牌面]</table>
捨牌	<table border="1">[牌面]</table>
最終形	<table border="1">[牌面]</table>

南家・長谷川和彦

配牌	<table border="1">[牌面]</table>
ツモ	<table border="1">[牌面]</table>
捨牌	<table border="1">[牌面]</table>
最終形	<table border="1">[牌面]</table>

西家・馬場裕一

配牌	<table border="1">[牌面]</table>
ツモ	<table border="1">[牌面]</table>
捨牌	<table border="1">[牌面]</table>
最終形	<table border="1">[牌面]</table>

北家・滝石潤

配牌	<table border="1">[牌面]</table>
ツモ	<table border="1">[牌面]</table>
捨牌	<table border="1">[牌面]</table>
最終形	<table border="1">[牌面]</table>

第5回となった雀鬼史上最強戦。常連あり初出場ありの強豪メンツバトル！

今年は例年以上に緊張感が高まる。

防が常にくり返される。



初出場、直木賞作家の伊集院静氏。

即リーチに行かないのは出来上がってから切るのは」(編集者の弁)だが、それはさておき、この手の仕上がりは、の雀風か。「東」は手の骨格が出来上がってから切るのは」(編集者の弁)だが、それはさておき、この手の仕上がりは、が場に2枚見えており、薄く感じられているが、これを引き戻しての「東」は手の骨格がガリの様相。しかし、先にそのツモをツモる。ここで山田の手が初めて、一瞬止まつた。

昨年の王者、平成の雀鬼丸となり、一年目に挑む山田、小島、飯田、麻雀・小島・タイトル男・飯田、プロの両雄VS雀鬼の形態が成り立った。四者に共通するのは押しの強さ。さらに急戦に対応できる雀風であること。早い巡目から緊迫した摸打球が期待できそうだ。

雀鬼会強し!! 2連覇である。なぜに、雀鬼会はこれほど強いのか。決勝を中心に報告するが、まずは予選の経過からみてみたい。

予選一回戦、伊集院、井出、伊藤、馬場がトップをとるが、2回戦ではその伊集院、井出、馬場がラスをひく、1回戦のラス4人のうち、2人がトップを取りという展開でまさにタンゴレースとなってしまった。2回戦終了時での最下位(荒)が、1回のトップでプラスになれるほどで、今更にチャンスが残された戦いとなつた。

3回戦では飯田、小島が2回戦に続いて連勝し、決勝戦進出に向けて優位に立つ。4回戦でも二人は2着で当確。残るはあとひとり。井出か、伊藤か、あるいは山田か。井出、伊藤はトップを取り、結果、井出の方が成績が上なので、井出の決勝進出は山田の卓の結果次第となつた。山田はプラス一万点の2着だった。山田は伊集院、井出、伊藤はト

た。(?)トップの滝石が押さえきれずに中を放銃。3900

の直取りで点差を詰め、山田は望みをつないだ。次局、クイタンで29000+600(南3局流局親流れ)でさらに詰める。こうなれば、そろそろ牌勢も傾く。

流局後チャンス手がくる。(牌譜1)

第一打は。中に託す手

か。一あ二島三島四島五島六島七島

らない滝石。この半荘に関していえばトップ目だが、トータルで見れば追い込まれているようなもので、逃げはきかない。

山田の配牌は平凡。

四雄出揃う!!